

県庁には、鉄道政策の専門部署があり、私は昨年、県議会で鉄道政策を担当する委員会に所属した事を活かし、県議会の中で継続的に質問・打ち合わせを行って来ました。

他の県議からは「高崎線・宇都宮線が東京駅乗り入れになれば、川越駅からの始発に乗ると(大宮で乗りかえ)、東京駅始発(6時)の東海道新幹線に乗れて、大阪で9時からの会議に間に合うので、推進を」との質問もありました(来年春開業し、高崎・宇都宮・常磐線は、東海道線と直通になります)

なお、新所沢駅から始発に乗ると、品川駅始発(6時)の新幹線に間に合いますが、狭山市からは、間に合いません。地域の競争は、鉄道でも激しくなっています。

(人口減少対策の根幹については、今後くわしくお伝えしていきます)

ブルーインパルス 11月3日午後1時05分～2時10分(飛び立つのは1時半)

ブルーインパルス曲技飛行、ラジオが中継!

FMチャッピー (77.7メガヘルツ)

狭山市内ではブルーインパルスを、基地内だけでなく、河川敷など広く見渡せる所や、家で見ての方が多くいらっしゃる、私から現在、ラジオ局さんに相談させて頂いているのは「ブルーインパルスのメンバーが、入間基地内にアナウンスしている実況中継がそのままラジオで流れれば、基地の外にいる方にも、いつ飛び立って来るのか、どんな形で飛んで来るのか分かり、更に楽しんで頂けるのでは?」という事です。

今年はそういう形ではありませんが、ブルーインパルスの曲技飛行の模様の一部が放送されます。

また、災害現場では、停電したりして、TVは見られません。そこで必要なのはラジオからの情報です。**ラジオ自体を持っていなくても、今はインターネットや、スマホで聴けます。**

狭山市が災害に巻き込まれた時、情報はラジオからが中心になる事が考えられますので、FM『77.7』を憶えて下さい。

(FMチャッピーは、所沢・狭山・入間・飯能市を中心とした地域FM局です)



**航空祭
車両通行止め**

稲荷山公園駅の踏切から(入間市方向へ)狭山保健所・経済高校まで、11月3日8時～16時まで両側、車両通行止めになります。車での送迎はご遠慮下さい。

市民劇団ステップ公演

11月1日(土)夜6時半、2日(日)1時半～ 市民会館小ホール 700円
子供(小学校高学年)から大人まで楽しめる、笑って泣けるあたたかいお話です。



署名にご協力ありがとうございました。お陰で、マスコミが動き、世論が動きました。
今後も何かありましたら、お願い致します。

中川ひろしホームページ <http://hiroshinakagawa.jp/>

ひろしの毎日の活動・発言を公開中。写真を多数使用し、分かりやすく説明↑。 も

ご意見・ご相談などは↓こちらへ

県議会 民主党・無所属の会

県議会議員

中川ひろし

ひろし事務所 〒350-1308 狭山市中央4-25-4 (マルエツの通り。高柳会計さん前)

電話 **090-3310-9234** FAX **2958-8643**

kids-dream@docomo.ne.jp hnkkgw@nifty.com



ひろしアドレス

ひろし新聞 141号

平成26年11月1日 発行者：県議会議員 中川 浩 (48歳)



『特色』編

航空祭

今年は無料バスが出ます!

狭山市内で最大の
集客イベントである、
航空自衛隊 入間基地の航空祭。

TVドラマ『空飛ぶ広報室』で、入間基地は全11話中7話に使われ(DVDレンタル中)、昨年の航空祭は、過去最大の約**32万人**が来場し(狭山市の人口の倍以上。前年比10万人も増)、安全確保の為、そのほか約7万人の方の入場をお断りせざるを得なかったそうです。

航空祭では、稲荷山公園駅を利用する来場者が多く、去年は12万8千人が利用。一昨年に比べると4万8千人も増え、基地は稲荷山公園駅周辺の安全対策に頭を悩ませていました。そこで基地の方と相談しながら、西武鉄道本社と打ち合わせを行い、基地から狭山市駅方面へのバス運行が可能か検討して頂きました。

入間基地・西武鉄道・ひろしの三者協議の結果、今年初めて、来場者が帰る際、無料バス10台が基地内を数分おきに運行する事になりました。基地内を通るので、帰りが楽チンです。



西武鉄道本社にて打ち合わせ(6月19日)

普段、一般の方は絶対に入れない滑走路のすぐ隣の道をバスが通ります。日頃見る事が出来ない景色をこの機会にお楽しみ下さい(マニアにはたまらない!)



普段は入れない基地内 外周道路。ここをバスが通ります

バス乗り場は、稲荷山公園通りのニックス近くのゲート内です。降り場は、入間川ゴムの路地の突きあたりのゲート。狭山市駅に行くには便利です(くわしくは下記をご覧ください。当日は案内看板があります)



この取り組みの大きな理由

①**市内商店街の方からの強い要望**がありました。「入間基地のゲート(出入口)を狭山市側に作ってくれば、自衛隊員の中で、狭山市に住んでくれる人も増えるので、ぜひお願いしたい」と言われ、市議会議員時代に議会で質問もしましたが、現在、狭山市役所の前のゲートは使われていません。

今後、入間基地と話をしながら、まず航空祭の時に、基地内から市役所前交差点を通して狭山市駅西口までバスが通れるようになり、西口広場でも航空祭関連のイベント(市民主催)が出来ればと思っています。

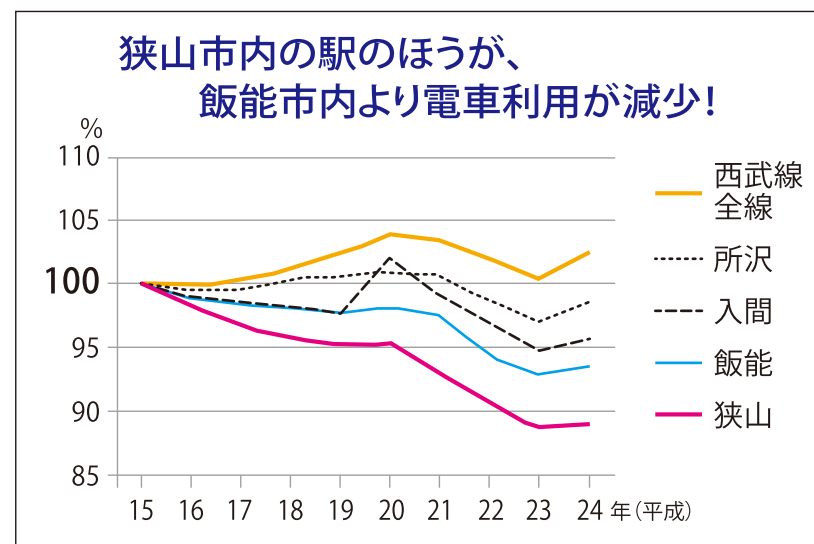
②**狭山市の特色を活かす**。狭山市は長年、工業生産出荷高が県内1位で(昨年2位)、ホンダをはじめとした工業団地や、入間基地といった『ものづくり』のまちだと思います。私は市議時代から、ものづくりのまちである特色を活かす提案をしています。

入間基地の面積の9割以上(93%)が、狭山市である事は、市外の方にあまり知られていないと思います。

川越が『くらづくり』なら、狭山は『ものづくり』でいかがでしょうか？

③**人口減少**をくい止める政策のひとつです。今年に入ってから、急に政府やマスコミは『人口減少』をキーワードにしていますが、以前から分かっていた事で、今になって騒ぐ事ではありませんが、将来予想と、具体的対策を進めて行かなければなりません。

私は市議に初当選させて頂く前は、狭山から都内に通勤したり、都内に住む事もありました。私の同年代



は、就職・結婚で、多くが**都内などに移住**している事に、市議になった当初から危機感があり、その対策として、公共交通、特に鉄道に力を入れるべきだと考え、これまで西武鉄道本社に要望に行って来ましたが、狭山市民の皆さんをはじめ、もっと西武新宿線をご利用頂く機会を増やすべく、自らも取り組まなければと思いました。鉄道会社は当然、民間事業です。収益が上がらない中で、サービスの格段の向上は望みにくいからです。

西武鉄道全体の利用者数は、10年前と比べ、増えていますが、所沢・狭山・入間・飯能市の4市の利用は減少。4市の中で、狭山市の利用者が一番減っていると聞き、驚きました。また、4市の市民の移動手段で車利用が3~4割との調査結果もあります。西武鉄道全体の利用者数が増えているのは、西東京市など都内の人口が増えているからだそうです。

2年前には、**飯能・日高市内のバス会社が全面撤退するという騒動**まであり(県・市が補助金を出し、存続)、少子高齢化社会を見すえ、誰もが利用できる公共交通機関の維持・発展は、大きな課題です。

入間基地内から見た狭山市役所前のゲート

